

# 鎌倉 パートナーズ



第65号 平成24年(2012年)12月発行(季刊)

鎌倉市市民活動センター広報紙

## 目 次

放射能講座第2弾報告	P 2	フェスティバルのお知らせ	P 6
登録団体見て歩き	P 3	情報コーナー	P 7
かまくらファンド審査会報告	P 4~5	センターからのお知らせ	P 8



(元気な玉縄地域)

研修部会たより  
放射能講座第2弾終了報告

講演会テーマ

## 放射能汚染地図と被爆防護 —チェルノブイリ・福島放射線測定から—



日時：2012年9月24日（月） 14:00～16:15

会場：鎌倉商工会議所 地下ホール

講師：木村真三氏（独協医科大学医学部 准教授、特定非営利活動法人 放射線衛生学研究所 理事長）

昨年12月2日、研修部会主催で放射線医学総合研究所・主任研究員、崎山比早子医学博士をお招きして「低レベル放射能と健康への影響」をテーマにして講演会を開催いたしました。「放射線の人体に与える線量について閾値は無い」と言われました。本年6月の鎌倉市内の小・中学校25校中10校で毎時0.19マイクロシーベルト以上の放射線量を検出しました。崎山先生、今回の木村先生のお話、又先日(10/31)の「内部被爆を生き抜く」という映画でもチェルノブイリの臨床医からこの0.19マイクロシーベルトが安全値であるかということには異論がもたらされています。

今回は医学博士木村真三氏をお招きしました。木村先生は昨年3月11日の東日本大震災による福島第2原発の事故後、放射線医学総合研究所に辞表を提出して現地入りし、放射線の測定をして、行政に先駆けて住民に避難を呼びかけられました。先生は5000キロメートルにも及ぶ測定調査により面的な放射能汚染地図を作られ、市民を啓発し、多くの市民の内部被爆・外部被爆の線量調査をされました。又正しい知識が無いが故に発生する中傷や虐待などに心を痛められ、県内・県外へ避難した人達のメンタルケアもされました。先生はチェルノブイリと福島で大部分の時間を過ごされていますが、現場で地域の人と共に放射能汚染と戦っておられます。

福島では「ホールボディカウンター」で体内被曝量の測定をしています。今年多数の学童の体内被曝量を測定された結果、多くの児童で昨年より体内被曝量が増えています。これは汚染地域での体育の屋外授業や外遊びなどが増えたことに起因していると思われます。自家菜園・家畜・野生動植物などの食品を摂取したりなどが原因と思われます。チェルノブイリでも未だにこれらの食品から高い放射能が検出されており、検査をしないで食することを戒めています。

放射能は今も尚、風・雨・雪によって運ばれ、日本全国に拡散されています。鎌倉市では横浜市業者（建設業者？）に委託して食品の放射線量だけを測定していますが、人体の内部被曝量の測定はしていません。

木村先生のNPO法人ではチェルノブイリの科学者と共同開発された測定器で食品、人体の放射線量を測定しています。鎌倉市にも環境・食品・内部被曝の放射線量を測定する技術を有し、市民にアドバイスできる市民科学者を養成することが求められます。研修部会では市民科学者を養成する講座を計画するなど引き続いて放射能に取り組んでいきたいと思っております。

今回はアンケートの回収率が良く、入場者の約半数余の方から提出していただきました。講座の内容は概して好評を頂きましたが、前回に比して20～30代の母親の参加者が少なかったことが課題となりました。

また、今回が初めての参加の人が相変わらず多いことも努力目標になります。 (H24.11.20 奥野 晃)



※講座の詳細は運営会議のホームページ (<http://npo-kama.sakura.ne.jp/uk/>) をご覧ください。



## 登録団体見て歩き

## グリーンサークル鎌倉

会の活動状況を、鈴木さんから伺いました。

グリーンサークル鎌倉(GC鎌倉)は2011年12月に発足しました。会の目的は、会員が自然に親しみ、木・森林・草花等の知識を学び、また、できるだけ生活の場に自然を取り入れ、自然環境を豊かにすることです。それに向けて、「親しむ会」、「見る会」、「知る会」、「育てる会」などの名前でさまざまな方向から活動することとしているそうです。平成24年度の事業計画では、各会を概ね2回ずつ実施することにしていました。

ところが活動を始めて間もなく、鎌倉宮境内のアジサイ苑の植栽・管理を手伝っては、との提案があり、事業計画に加えて「育てる会」の内容は毎月1回鎌倉宮境内の整備に協力し、専門家の指導を受けながら除草、植栽、剪定などを行ってきたとのこと。1年間の作業によって、アジサイがうまく育ち美しい花をつけてくれよ、という気持ちが湧いてきたそうです。



鎌倉宮の紫陽花の手入れ

各活動を横につなげる意味で、年度毎の統一テーマを決め活動しているとのことですが、平成24年度のテーマは「鎌倉の古木・名木」と決め、鎌倉の古木・名木のデータや写真を集めているそうです。現在の鎌倉の状況を知る良い記録になるに違いありません。

平成24年の3月～11月の実績では、親しむ会＝3回、見る会＝2回、育てる会＝2回、と上記の鎌倉宮への協力＝7回など、活動は順調に軌道に乗りました。

ところで、「グリーンサークル」というのは、日本森林林業振興会(林野庁の関係団体)にグリーンサークルという会があり、その鎌倉版を目指して全国という広い場ではなく鎌倉という狭い地域で似たような活動をしてみようと、GC鎌倉の会員で全国版GCの会員でもある何名かが云いだしたのが発足の経緯だということです。全国版GCとの連携も視野に入れた活動が展開することでしょう。(取材 廣明)

会員数 17名、年会費 500円

連絡先: [yuujii661@hotmail.com](mailto:yuujii661@hotmail.com) (鈴木)

## NPO法人

## 鎌倉成年後見・文化財支援センター

現在、鎌倉市では65歳以上の高齢者が市全人口の27%に達しています。近隣の逗子市、葉山町もそれ以上の割合になっています。高齢者自身ではなかなか進められない、介護施設等利用のための契約、預貯金の通帳管理、不動産の管理処分、悪徳商法の対応、遺言書の作成、あるいは、死後の財産整理・執行等は、専門家の細やかな支援が必要・不可欠です。成年後見制度の普及と活用は高齢化社会においてはなくてはならないものです。

今回紹介する鎌倉成年後見・文化財支援センターの愛称は、「鎌倉みまもり」です。高齢者、知的障がい者の方々のみまもり、身上監護、財産管理、人権擁護等の事業を行うことにより福祉の増進に寄与すること、また、古都鎌倉の文化財の保護促進に関する事業を行うことにより伝統ある文化の維持発展に寄与することを目的としています。

行政の手が及ばないことをNPO法人として補完する。「民間でできることは民間で果たしていく」との思いで、今年度発足しました。

高齢者に対して温かい気持ちで、心に寄り添って、みまもり支えることをモットーに、行政書士を中心とした12人の会員がその専門的な知識を活用して、高齢者の方々が老後を安心して暮らせるようにするための活動を目指しています。

現段階では、鎌倉市、逗子市、葉山町の行政の長や関係諸機関に「鎌倉みまもり」の意義を理解していただき、連携のあり方等を働きかけることを活動の中心にしています。

ゆくゆくは自治体との連携を深めることばかりでなく、老人保健施設、老人ホーム、病院、介護士、ケアマネージャーなどとのネットワーク作りをしていきたいとのことでした。(取材 中垣)

ご相談のある方、ご連絡ください！！

連絡先: 0467-33-0865

[k-oda@hyper.ocn.ne.jp](mailto:k-oda@hyper.ocn.ne.jp) (小田)



NPOセンター鎌倉にて研修会

平成24年度

# NPO支援かまくらファンド審査会 報告

平成24年11月3日、たまなわ交流センター会議室において、「NPO支援かまくらファンド審査会」が開催されました。



今年は「かまくらファンド」にたいする応募が例年の2倍以上の13団体からあり、午前中の報告会もありましたので、時間の配分に苦労しました。他方、ファンド部会の日ごろの努力の成果が報われたのかと嬉しい気持ちもありました。

前年の助成対象団体は4団体でしたが、一時間の間それぞれ映像を交えて一年間の成果について分かりやすい報告があり、ファンドが有効に使われたことを確認しました。

午後の審査会は応募が多数のため、12時から行われました。

当初助成対象の団体は、例年通り4団体を予定していましたが、応募申請団体が多数のため、急遽6団体に増枠いたしました。

審査の結果、助成対象となったのは6団体となりましたが、それぞれの団体の活動内容は多岐に亘っていて、結果的には今年は充実した内容になったと思います。

助成対象となった団体のうち2団体は、立ち上がりの段階で実績が殆どありませんでしたが、その着想が評価され、将来的にはその活動の成果が期待されるものでした。また2年連続して助成対象となった「かまくら認知症ネットワーク」は日常の真摯な研修活動が高く評価され、事業の展開においても他の市民団体との積極的な連携活動が好感されたものと思われまます。

最後にお昼の時間を一時間繰り上げる強行スケジュールの中、長時間に亘りボランティアで熱心に審査をしていただいた審査員の方々に心からお礼申し上げます。(ファンド部会 吉野 功 記)

## ファンド資金は

一般企業や市民、鎌倉市市民活動センター登録団体からの寄付、運営会議正会員がお祭りやイベントで集めたお金から成り立っています。

## < 審査員の方々 >

- 伊藤 昌裕さん (鎌倉市市民活動部次長)
- 大屋 進さん (NPO法人鎌倉広町の森市民協議会顧問)
- 小倉 寛子さん (NPO法人リサイクル推進会議理事)
- 前田 陽子さん (みどりショップの会代表)
- 渡邊 公子さん (鎌倉市市民活動センター運営会議理事長)

## かまくらファンド助成団体

### < 主な活動 >

### < 助成申請 >

かまくらファンド助成団体	< 主な活動 >	< 助成申請 >
一般社団法人 かまくら認知症ネットワーク	認知症のケアを専門家だけでなく、家族や一般市民に向けての研修や普及	認知症者や家族、一般市民が交流する「かまくら散歩」に要する諸費用
北鎌倉吊るし飾り委員会	北鎌倉のまちづくり	毎年2月、3月の閑散期における北鎌倉の街の活性化を図るため「北鎌倉吊るし飾りのある街」開催に向けて参加者を募集。費用は主に展示用の作品購入費用
発達障がい児者の 支援グループ「ふれんど」	発達障がい児者の家族支援、子ども達の自己肯定感・達成感を高め、運動不足解消のための山登り、料理教室の開催	念願の高尾山山登りのためのバス代
あしおとでつながろう！ プロジェクト	「布製タップシューズ」制作を障害者作業所に依頼し、障がい者の方々とタップダンスを通して交流し、障がい者の自己表現や感情解放の機会を促進	布製タップシューズの制作費(木製タップチップ、金属タップチップ費を含む)
NPO法人 ワーカーズ・コレクティブ みつばち	子育てをしている家庭に対して必要な支援として、月決め保育、一時預かり保育など家庭の事情に合わせた保育	地域の人たち皆でクリスマスを楽しむ親子広場を開催。(簡単なケーキを作り、クリスマスソングに合わせて皆で合奏・合唱する)
NPO法人 子ども大学かまくら	子どもを対象にした鎌倉ならではの授業の展開	会場費や子ども用の教材購入

## < 評価項目 >

- ・ 問題解決のための問題意識を持ち、その活動に社会性、公共性が認められる
- ・ 対象とする活動に計画性があり、実現性が高い活動である
- ・ 対象とする活動に継続性があり、発展の可能性が高い活動である
- ・ 活動に対する意欲が認められ、助成の効果が高い活動である
- ・ 新しい視点からの市民活動への提案が見受けられる

助成団体に選んでいただき、ありがとうございます。今回購入する子ども用調理器具を大いに活用し、親子の食育をもっと地域に呼びかけ広げて行きたいです。また、お父さんがより気軽に集い、共に子育てに楽しく参加できるよう企画を工夫していきたいと思います。  
(ワーカーズ・コレクティブ  
みつばち 北橋彩香)



## ~参加者の声~

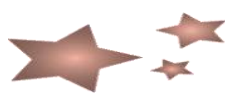
13団体を6団体に絞るといって難しい作業。本当にご苦労様でした。これだけの多くの市民活動が行われていることに驚きました。これからは、市民活動が活発になるように私達も努力する覚悟です。  
(子ども大学かまくら 横川)

11月3日は恒例行事があり、審査会には途中参加で、前半の団体のプレゼンテーションを見逃し残念でした。審査では私たちの団体にも鋭い質問などがあり13団体から6団体を選ぶという大変な作業でしたが見ごたえがありました。  
(北鎌倉吊るし飾り委員会 斎藤博子)

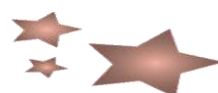


他の団体の活動内容を聞くことができ、とても有意義な時間でした。各団体の概要だけでも、当日参加団体に配布して頂けたら、より理解も深まったと思います。ありがとうございました。  
(発達障がい児者支援グループ ふれんど 木戸礼子)





# イベント・ボランティア情報 (12月～2013年1月)



## 北鎌倉・台峯を歩く

### ☆山の手入れ(雨天中止)

開催日時:平成24年12月15日(土)10:00～12:00

集合場所:山ノ内配水池横

(北鎌倉駅より梶原の方へ徒歩15分)

持ち物:軍手 ※道具は用意します

### ☆山歩き

開催日時:平成24年12月16日(日)9:00～12:00

集合場所:北鎌倉駅西口駅前

コース:(予定)山ノ内公会堂→台峯→中央公園

服装:ハイキングシューズ、長袖シャツ、リュック

持ち物:飲み物、軽食、双眼鏡、雨具

主催:北鎌倉の景観を後世に伝える基金

問合せ先:TEL 0467-47-9892(和泉)

H P: <http://www.kitakamakura-daimine-trust.org/>

## 北鎌倉明月荘の手入れ

### 北鎌倉明月荘の手入れをお手伝いいただけませんか

活動日時:毎月第2、第4金曜日(雨天中止)10:00～12:00

(12月のみ第1、第3金曜日)

場所:北鎌倉 明月荘

服装:作業しやすい服装、靴はハイキング用、帽子、軍手

※初めての方は9時に明月荘門前集合

※飲物、食料は各自持参

主催:北鎌倉明月荘の会

問合せ先:0467-22-8751(吉川)、090-3228-8341(川上)

0467-44-9674(広瀬)、090-6025-5107(一ノ瀬)

E-mail: [meigetsu\\_yato@yahoo.co.jp](mailto:meigetsu_yato@yahoo.co.jp)

## 鎌倉ガイド協会 1月の史跡めぐり

### 新春の鎌倉 七福神を巡り招福祈願

実施日:平成25年1月7日(月)/8日(火)/9日(水)/11日(金)

集合場所:JR北鎌倉駅(交番横)

受付時間:9:30～ 最終出発 10:00

Aコース:北鎌倉駅→浄智寺→鶴岡八幡宮→宝戒寺→妙隆寺→

(約7km) 本覚寺→大町会館(昼食)→御霊神社→長谷寺(解散)

(解散14:30頃)

費用:参加費500円 拝観料550円

### 新春、招福祈願(鎌倉宮)と霊峰富士を仰ぐ

実施日:平成25年1月22日(火)/24日(木)/28日(月)/30日(水)

集合場所:JR鎌倉駅東口(交番横)

受付時間:9:15～ 最終出発 9:45

Bコース:JR鎌倉駅=[バス]=大塔宮バス停→鎌倉宮(正式参拝)

(約6km) →杉本寺→浄明寺緑地(昼食)→名越切通→

光明寺(山門特別拝観)→光明寺バス停(解散14:30頃)

費用:参加費500円 拝観料等600円 交通費(バス代)190円

## 大町コミュニティーマーケット 東北支援物産展 第3弾 ～クリスマスイブ～

東北のあたたかい食べ物をたべながら、岩手の野菜や物産、手づくり品を販売します。

せんべい汁(検討中)、青森りんごのジャム作り体験・・・

その他、楽しい企画が盛りだくさん!!

開催日時:平成24年12月23日(日)、24日(月)10:00～16:00

会場:米町会館(大町1-1-5 スワニー裏手路地)

主催:朋ボランティアグループ

問合せ先:TEL/FAX 0467-22-0802(手づくり品の店「朋」)

E-mail: [info@tomo-kamakura.org](mailto:info@tomo-kamakura.org)

H P: <http://tomo-kamakura.org/>

## 福祉ショップ「朋(とも)」 運搬ボランティア

### バザー出店時に 自家用車での運搬ボランティアを募集しています!!

活動日時:随時(地域でのバザー出店時、月1～2回程度)

活動場所:福祉ショップ「朋」⇄バザー会場

主催:朋ボランティアグループ

問合せ先:TEL/FAX 0467-22-0802(手づくり品の店「朋」)

E-mail: [info@tomo-kamakura.org](mailto:info@tomo-kamakura.org)

H P: <http://tomo-kamakura.org/>



### 特別コース近代日本幕開けの地『浦賀』を巡る ～頼朝ゆかりの叶神社で初詣

開催日時:平成25年1月16日(水)/18日(金)

申し込み:はがき、FAX、メール(HPの書式使用)

※コース名、参加希望日、氏名(同伴者も)、住所、電話番号を明記

〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜4-1-1 鎌倉ガイド協会

締切:実施日の1週間前

持ち物:弁当、飲み物、雨具、福寿手帳(お持ちの方)

主催:NPO法人鎌倉ガイド協会

問合せ先:TEL 0467-24-6548(9:30～15:30)

FAX 0467-24-6523(第2土曜日は休み)

H P: <http://www.kcn-net.org/guide/>

※台風、強風、豪雨以外は雨天でも実施しますが、コースを変更することがあります。

# イベント・ボランティア情報

## (2013年1~3月)

### 新春講演会「赤坂離宮の美」 『赤坂迎賓館の七不思議』

ネオ・バロック様式の外観、内装は日本風の意匠を含む装飾。国宝指定の迎賓館赤坂離宮(旧東宮御所)は、外国の国賓の宿泊等接遇に使われている。明治42年に元紀州藩の屋敷跡に建設されたのが始まり。前迎賓館館長(元東宮侍従長)が映像を交えてその迎賓館にまつわる七不思議を解説。

開催日時：平成25年1月27日(日)10:00~11:30  
会場：鎌倉生涯学習センター 第6集会室  
講師：小林秀明  
(前迎賓館館長、元駐タイ王国大使、元東宮侍従長)  
参加費：500円  
定員：申し込み先着50名  
主催：自然環境と人間生活を考える会  
後援：鎌倉市教育委員会  
申込先：090-4710-3790(渡邊)  
E-mail：tm6903@live.jp

### 鎌倉友の会 映画上映会 マーガレット・サッチャー ~鉄の女の涙~

きっと、あなたも好きになる。世界から恐れられた彼女を—  
〈鉄の女〉マーガレット・サッチャーの真実

開催日時：平成25年2月18日(月) ①10:00~ ②13:00~  
※開場は20分前  
会場：鎌倉生涯学習センター ホール  
チケット：前売券 大人 800円(当日券 大人 1000円)  
チケット販売：鎌倉友の会、島森書店、たらば書房  
ビストログレ(鎌倉生涯学習センター内)  
チケットワン(大船仲通り 丸秀園茶店横)  
主催：鎌倉友の会  
問合せ先：TEL/FAX 0467-45-9222(大野)  
TEL 0467-46-4035(牧野)  
E-mail：kamatomo16@gmail.com  
HP：http://www.kamatomo.sakura.net

### 関谷川清掃活動

活動日：平成25年3月10日(日)9:30~11:30  
集合場所：「新風台住宅地入口」交差点付近の関谷川沿い  
服装：クリーンデーの服装  
持ち物：お持ちの方は手鎌、川に入れる方は長靴  
主催：関谷川をきれいにする会  
問合せ先：0467-47-4015(川村泰一)  
E-mail：kawamura@ir-beecs.co.jp

### 玉縄城址自然観察会 「七曲坂・市民緑地の探鳥会」

七曲坂の美化奉仕の後、  
さえずりで野鳥の名前を憶えましょう。

開催日時：平成25年1月5日(土)9:00~12:00  
会場：七曲坂広場  
講師：久保 廣晃氏  
参加費：300円(資料代含み)  
募集：30人  
主催：玉縄城址まちづくり会議  
※問合せ、参加申し込みは下記参照

### 玉縄歴史アカデミア 連続セミナー No.15 「綱成・氏繁と鶴岡八幡宮」

1570年代、関東制覇に忙しい後北条氏、玉縄城主として  
転戦する「綱成・氏繁」の足跡と、鶴岡八幡宮との関わりを  
学びます。

開催日時：平成25年2月10日(日)14:00~  
会場：玉縄学習センター 第1集会室  
講師：伊藤 一美氏  
参加費：800円(資料代含み)  
募集：先着40人  
主催：玉縄城址まちづくり会議  
※問合せ、参加申し込みは下記参照

### 雑祭り お話し会

開催日時：平成25年3月3日(日)14:00~  
会場：玉縄ふるさと館 重文 古民家  
参加費：200円  
募集：30人  
主催：玉縄城址まちづくり会議  
申込・問合せ：TEL/FAX 0467-45-7411(玉縄城址まちづくり会議)  
E-mail：artbank21@nifty.com  
HP：http://www48.tok2.com/home/tamanawajyo

掲載を希望する登録団体は、情報をお寄せください。  
○ パートナーズは年4回、3か月毎に発行しています。  
(6月、9月、12月、3月)  
※原稿の〆切日：原則として発行月の前月中旬  
○ ホームページは、その都度更新します。  
※原稿の〆切日：原則としてイベント開催日の1か月前  
※原則として2か月前より掲載いたします。  
【送付先】 NPOセンター大船 FAX：42-0345  
e-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp

# かまくら市民活動の日フェスティバルに

日時：2013年5月10日（金）5月11日（土）  
5月12日（日）  
場所：鎌倉生涯学習センター

震災以降、市民活動が大変活発になってきています。とりわけ鎌倉はその動きが強い地域とも言われています。

そんな中で結成された「かまくら市民活動の日フェスティバル実行委員会」は15回目を迎えます。

今回のフェスティバル実行委員会では、市民活動の原点に立ち返ろうという想いから、ある言葉をテーマに致しました。それは「アクション」です。

行動を起こし、一緒に汗を流し、素晴らしい時間を共有する事の大切さを今一度考えようという想いから「アクションかまくら ～私たちの出来ること～」を第15回のテーマと致しました。

今回ならではの取り組みにもチャレンジしたいと思っておりますので奮ってご参加ください。

## 参加しませんか！！

### ■参加募集説明会

日時：2013年2月9日（土）14:00～

場所：鎌倉市福祉センター 第1・第2会議室

※説明会后、各グループに分かれご相談いただきます

### ■参加団体説明会

日時：2013年3月30日（土）14:00～

場所：鎌倉市福祉センター 第1・第2会議室

今回は活動内容毎のグループに分かれ、展示場レイアウトのご希望等、出しあって頂きたいと思っておりますので、ご参加が確定なさっている団体の方も、2月9日の「参加募集説明会」にもご参加頂きたく、ご案内致します。

## イベントに参加しました

NPOセンターのPRを兼ねてイベントに参加しました。10月28日、「玉縄城築城500年祭」は小雨であいにくの天気、11月10日の「玉縄まつり」は汗ばむほどの陽気でした。宝つり、輪投げにはたくさんのお子どもたちが参加してくれました。思った景品が当たらずちょっと困った様子もほほえましく、ほっとするひと時でした。



(玉縄まつり)



(玉縄城築城500年祭)

## ありがとうございました

### 玉手箱だより

皆様から大切な品を寄付していただき、気に入った方にお持ちいただく。その際、何かしらの寄付をいただく「玉手箱」を覚えていらっしゃいますか？

先日玉手箱のお宝の「くしとかんざし」が日本語 COSMOS さんのはからいで、長い髪をお箸で留めていた外国のおしゃれな女性に渡りました。身近にこんな素敵なお国際交流があったことをうれしく思い、皆様にお知らせしたくなりました。

(運営会議 ファンド部会)

### 映画上映会報告

11月20日、鎌倉芸術館において開催された「ガイアシンフォニー第6番」の上映会に多数ご来場頂き、ありがとうございました。

収益金は、市民活動支援のために有効に使わせて頂きます。

(「地球交響曲第6番」上映実行委員会)



# 情報コーナー

## 利用登録団体懇話会開催

平成24年度第2回利用登録団体懇話会を開催いたします。詳細は、団体宛に配布されるチラシをご覧ください。

日時：平成25年1月26日（土）15時～17時  
場所：たまなわ交流センター2階会議室  
内容：登録団体PR、センターからのお知らせ 他

なお、懇話会終了後、NPOセンター大船にて交流懇親会（17時～18時）を行います。

## 相互提案協働事業 随時受け付け！！

鎌倉市は、「市民活動団体と鎌倉市による相互提案協働事業」の応募を随時受け付けています。行政よりNPOが得意なこと、行政の手が届きにくいところなど、市と協働すればより成果があがり、住みやすい鎌倉につながる事業はありませんか！  
詳細はNPOセンターにお問い合わせください。

## 協働事業研修会のお知らせ

「市民も行政も、もう一度協働を考える」  
(ワークショップ含む)

日時：平成25年3月26日（火）13時30分～16時30分（会場未定）  
講師：志村直愛氏

(東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科教授)

土屋真美子氏

(特定非営利活動法人アクションポート横浜理事)

共催：NPO法人鎌倉市市民活動センター運営会議／鎌倉市

平成25年2月15日（金）～21日（木）に行われる「JR鎌倉駅地下道ギャラリー展」への参加申し込みを受け付けます。

申し込みは団体宛にお送りする申し込み用紙でお申し込みください。

## JR鎌倉駅地下道ギャラリー展のお知らせ

当センターホームページに「助成金情報」を掲載しています。

募集要項の概要がご覧いただけます。ホームページをご覧になれない方は、センターにお越しいただければ、情報をご提供いたします。また、相談部会では、個別のご相談にもお応えできる態勢を用意していますので、是非ご利用ください。

## 助成金情報

## 相談 Q&A

### 収益事業について

Q：収益事業について新しく取り組みたいが、そのメリット、デメリットについて教えてください。

A：NPO法人に対する法人税は、税法に定められた34の業種についてのみ収益事業として課税対象となり、この34業種以外のその他の事業については、非収益事業として課税の対象とはなりません。このため、非収益事業だけを行なっている場合は、収益を計上しても法人税を納付する必要はありません。

ただ、NPO法人といえども、事業の拡大を図るためには収益事業に進出することも必要となるため、そのメリット、デメリットについての相談が増えています。

まず、メリットとしては、収益を上げやすい業種が多いため、収益を得やすいということがあります。

一方、デメリットとしては、①会計を収益事業と非収益事業に区分して経理する必要がある、②確定申告をする必要がある、など会計が複雑になるため、人材面や事務処理などの面の見直しが必要になります。

また、地方税の均等割分（県税（2万円）、市民税（5万円））の免除申請による免除が、収益事業を行うことにより認められなくなるため、コスト増となります。ただ、上記の収益事業を行なっても、事業に従事する者の半数以上が障害者や高齢者（満65歳以上）であれば、収益事業とはされないという例外規定があります。（運営会議 相談部会）



# NPOセンターからのお知らせ

## 新収図書のお知らせ

### ～鎌倉センター～

#### 《図書》

- ◇ 放射線になんか まけないぞ！  
監修：木村真三 2012年9月
- ◇ 放射線とのつきあい  
著者：岡野眞治 2011年10月
- ◇ KWh=¥  
エネルギーが地域通貨になる日、日本は蘇る  
著者：村上 敦 2012年8月  
(蓮見洋平氏より受増)
- ◇ 半円の空  
著者：高島憲子 2012年10月  
(高島憲子氏より受増)

### ～大船センター～

#### 《図書》

- ◇ 生きてきたを伝える  
発行：全日本年金者組合鎌倉支部 2011年8月  
(同支部より受増)

### ～両センター～

#### 《図書》

- ◇ 民主主義の文法  
著者：ドリス・P・ジーマーメン 2002年11月  
(橋爪幸臣氏より受増)

## 新規登録団体の紹介（平成24年12月1日現在）

- ☆鎌倉に震災銭湯をつくる会：震災時の銭湯の重要性を市民の立場で訴え、署名活動やシンポジウムを開催
- ☆ワーカーズ・コレクティブちるべえ鎌倉：子どもたちが学校や地域で困っている事を一緒に学習したりコミュニケーションの取り方を体験したりすることで解決していく活動
- ☆スペイン語勉強会・アミーゴ：スペイン語を学習し、日本を訪れた人々と国際交流を通して相互理解を深め国際協力に役立てる
- ☆窓辺の会：人文科学、社会科学等、広い分野の学習を進め社会に貢献する活動
- ☆未来の瞳：ベトナムホーチミン市のストリートチルドレンケアNGOへの里親活動支援、物資・資金援助等を行う活動

## マック対応接続コード常備

センター常備のプロジェクターとマックのパソコンをつなぐコードをNPOセンター鎌倉に用意いたしました。利用をご希望の場合は、センターのプロジェクターを予約する際にお申し出ください。

## 会議室予約時のお願い

センターの会議室は、3か月前から予約ができます。メールでの予約は、予約開始日の9時以降に送信下さるようお願いいたします。（前日からの送信はご遠慮ください）

## 土曜日・日曜日の駐車場利用申請について

土曜日、日曜日は市役所の駐車場は有料になります。重い機材、大量の用紙などを運ばれる団体等は、木曜日までにお申し込みいただくと駐車場をお使いいただけます。（午前・午後2台ずつ使用可）

詳細は、NPOセンターにお問い合わせください。

平成24年12月1日現在 **利用登録団体数：417団体**

**お願い** 利用登録団体の登録内容（連絡先・代表者・活動内容等）に変更があった場合は速やかにご連絡ください。

発行：鎌倉市市民活動センター  
編集：特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議 広報部会  
<http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/>

### NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町18-10  
TEL：0467-23-3000 内線2655  
TEL：0467-60-4555（直通）  
FAX：0467-61-3928  
E-mail：npo@chive.ocn.ne.jp



### NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台1-2-25  
（たまなわ交流センター 1階）  
TEL/FAX：0467-42-0345  
E-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp